

# 原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(令和元年6月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m<sup>3</sup>以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:106)
2. 調査実施時期 令和元年6月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査  
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査

## 4. 企業判断指数の算出方法

[ (回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%)) ]  
(最大値100/最小値-100)

## 5. 調査結果(回答工場数:98社 / 回答率:92.5%)

### 【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
H30.9	<b>-38</b>	<i>-34</i>	<i>-35</i>	-	-	-
H30.12	-	<b>-36</b>	<i>-47</i>	<i>-47</i>	-	-
H31.3	-	-	<b>-3</b>	<i>-27</i>	<i>-41</i>	-
R元.6	-	-	-	<b>5</b>	<i>-15</i>	<i>-32</i>

(概況)  
在荷量から判断すると、トドマツの原木在庫は前年を若干上回っているが、今後は緩やかに前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)  
前年と比べ多少は順調/昨年度より1ヶ月分ほど多い/原木不足は変わらず/品薄状態、価格高止まり/港へ行く傾向が強い/需要が落ちている/大径材は入荷量多いが、小径木が不足/原料材は仕入困難

原木在荷量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m<sup>3</sup>)

	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
当年	160,285	146,052	178,606	-	-	-
(前年)	145,319	128,115	166,125	165,671	160,285	146,052
対前年比	110%	114%	108%	-	-	-

### 【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
H30.9	<b>-10</b>	<i>-9</i>	<i>-19</i>	-	-	-
H30.12	-	<b>7</b>	<i>-10</i>	<i>-9</i>	-	-
H31.3	-	-	<b>-10</b>	<i>-12</i>	<i>-7</i>	-
R元.6	-	-	-	<b>-17</b>	<i>-17</i>	<i>-26</i>

(概況)  
原木消費量から判断すると、トドマツの荷動きは前年並みだが、今後は前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)  
旺盛だが対応可能な工場体制になっていない/受注は前年並み/荷動き順調/関東地区工事情報、オリパラ後の動向注視/輸出向け梱包材が鈍い/住宅着工戸数減少の影響か積木の動きが落ちている

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m<sup>3</sup>)

	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
当年	205,404	224,597	197,058	-	-	-
(前年)	216,811	214,410	190,366	210,344	205,404	224,597
対前年比	95%	105%	104%	-	-	-

### 【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
H30.9	<b>-46</b>	<i>-39</i>	<i>-47</i>	-	-	-
H30.12	-	<b>-59</b>	<i>-64</i>	<i>-57</i>	-	-
H31.3	-	-	<b>-29</b>	<i>-47</i>	<i>-50</i>	-
R元.6	-	-	-	<b>-17</b>	<i>-41</i>	<i>-45</i>

(概況)  
在荷量から判断すると、カラマツの原木在庫は前年を上回っているが、今後は前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)  
在庫不足感までは感じていない/9月半期まではなんとか維持/入荷は今後も厳しい/運材が間に合っていない/自社造材を使用のため不足感なし/チップ、おが粉用は仕入れが困難/依然として原木不足

原木在荷量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m<sup>3</sup>)

	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
当年	179,587	166,827	224,394	-	-	-
(前年)	220,462	173,281	180,409	192,395	179,587	166,827
対前年比	81%	96%	124%	-	-	-

### 【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
H30.9	<b>-8</b>	<i>-10</i>	<i>-14</i>	-	-	-
H30.12	-	<b>11</b>	<i>5</i>	<i>-2</i>	-	-
H31.3	-	-	<b>18</b>	<i>12</i>	<i>2</i>	-
R元.6	-	-	-	<b>2</b>	<i>-16</i>	<i>-19</i>

(概況)  
原木消費量から判断すると、カラマツの荷動きは前年を若干下回っており、今後も下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)  
受注は旺盛/荷動きは良い/輸出が鈍っているため動きが少ない/パレット見積みも増えている/受注は不安定/消費税増税、米中貿易摩擦で不透明/梱包材の量が少し減ってきている/トドマツよりは受注良い

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m<sup>3</sup>)

	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12
当年	287,480	288,663	262,626	-	-	-
(前年)	297,111	309,295	286,973	312,613	287,480	288,663
対前年比	97%	93%	92%	-	-	-

# 道内の木材需給の見通し（令和元年6月調査分）

—令和元年8月公表—

北海道水産林務部林務局林業木材課  
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

**原木在庫・製品荷動き** 前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

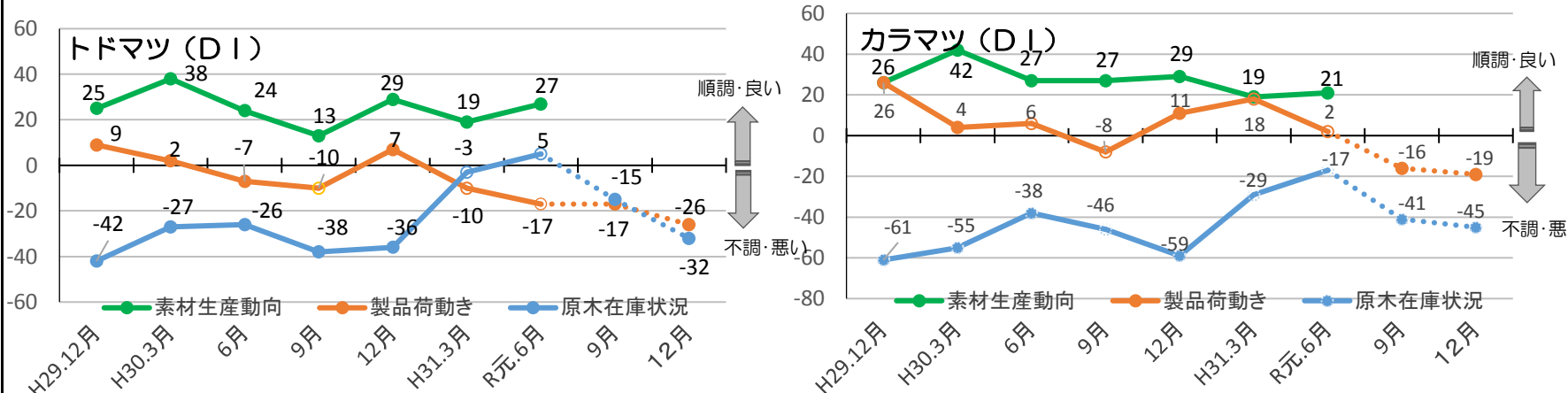
	《4~6月》	《R元.7~12月見通し》		《凡例》
トドマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は前年を若干上回っており、 今後は緩やかに前年を下回る見通し	《原木在庫》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は前年並みだが、 今後は前年を下回る見通し	
カラマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は在庫量から判断すると前年を上回っており、 今後は前年を下回る見通し	《製品荷動き》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は前年を若干下回っており、 今後も前年を下回る見通し	

**素材生産動向** 前月と比較した林業事業体の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

	《6月》	《R元.7月見通し》		《凡例》
トドマツ			○「素材生産動向」は「順調」35%、「並み」57%、「不調」8%となっており、 順調な傾向の見通しもやや下降傾向	《順調》 《並み》 《不調》
カラマツ			○「素材生産動向」は「順調」31%、「並み」59%、「不調」10%となっており、 順調な見通しも下降傾向	

**素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI**  
 ○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し  
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

※「判断指数（DI）」＝（「順調・良い」とした比率（％））－（「不調・悪い」とした比率（％））

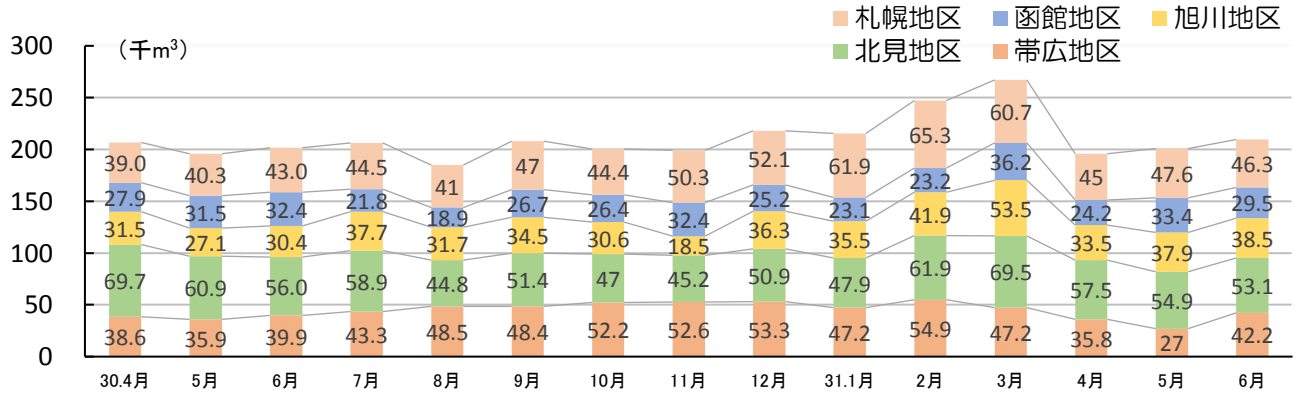


## 《参考情報》

注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

### 素材生産量の推移

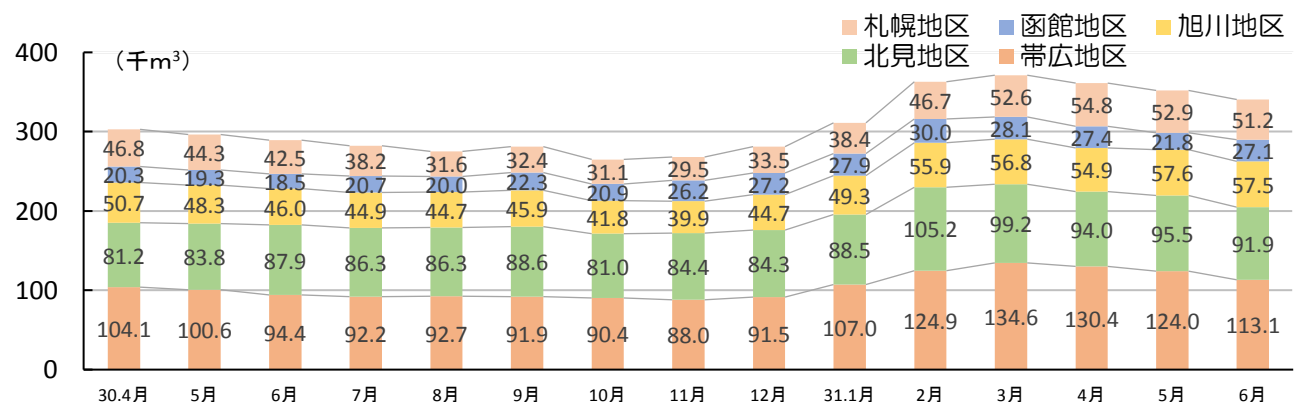
- 6月の素材生産量は前月比8.8千m<sup>3</sup>増の209.6千m<sup>3</sup>
- 7月の素材生産量は4.2千m<sup>3</sup>減の205.4千m<sup>3</sup>の見通しで、地区別では帯広地区を除き、前月実績より微減の見込み



出典：素材生産動向調査（北海道森林管理局）による

### 製材工場の原木在庫量の推移

- 6月のトドマツ原木在庫量は前年同月に比べ増加、原木消費量は前年同月と比べ減少の見込み
- 6月のカラマツ原木在庫量は前年同月に比べ増加、原木消費量は前年同月と比べ減少の見込み



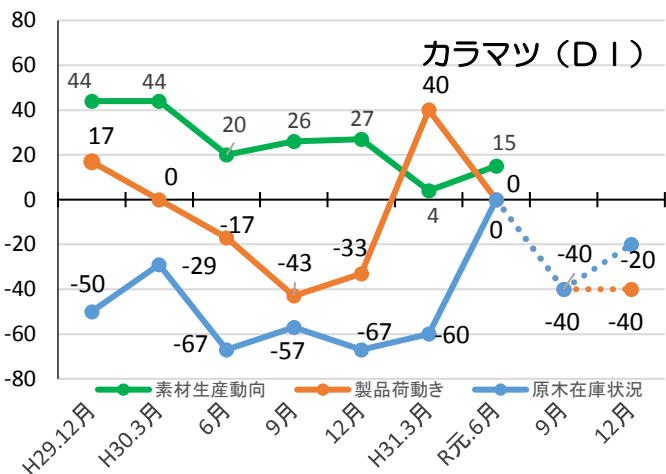
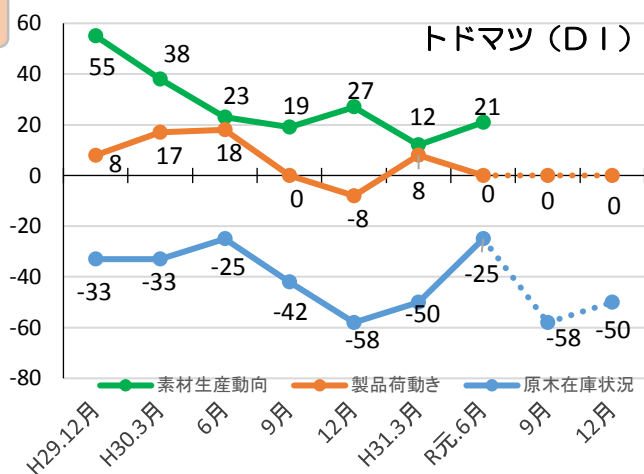
出典：製材工場動態調査（北海道）による。注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でH31.4~R元.6月は速報値でエゾマツを含む

素材生産と原木在庫・製品荷動きのDI (地区別)

○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し  
○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

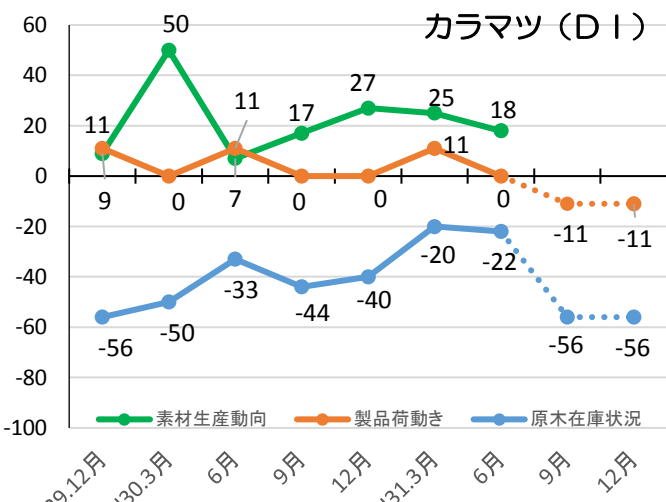
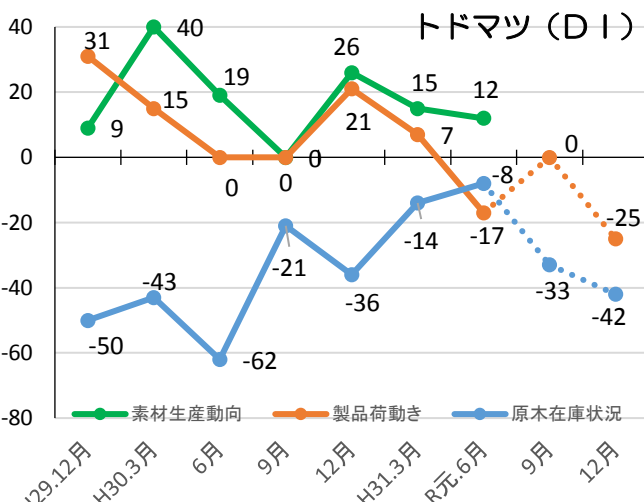
札幌地区 (石狩・空知・胆振・日高)

- 【トドマツ】**
- 素材生産は順調な見通しもやや下降傾向
  - 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年並みの見通し
- 【カラマツ】**
- 素材生産は順調な見通しも下降傾向
  - 原木在庫、製品荷動きとも前年を下回る見通し



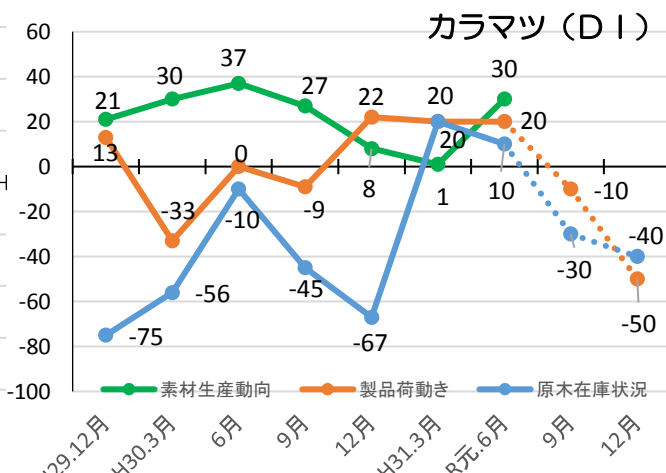
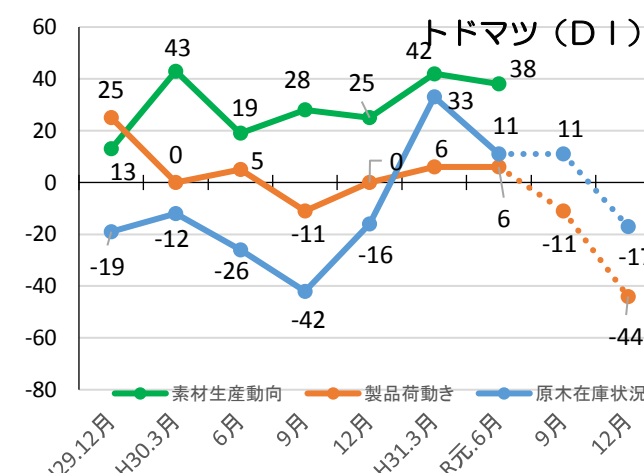
函館地区 (渡島・檜山・後志)

- 【トドマツ】**
- 素材生産は順調な見通しも下降傾向
  - 原木在庫、製品荷動きとも前年を下回る見通し
- 【カラマツ】**
- 素材生産は順調な見通しもやや下降傾向
  - 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を若干下回る見通し



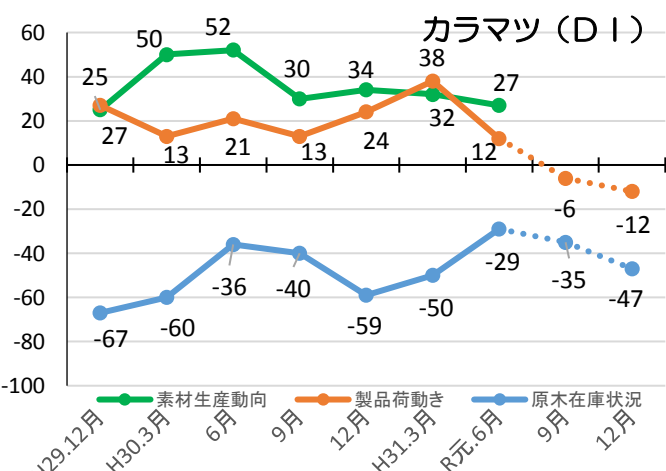
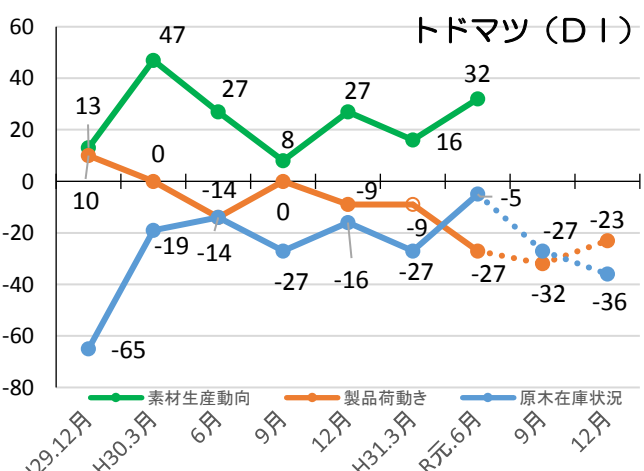
旭川地区 (上川・留萌・宗谷)

- 【トドマツ】**
- 素材生産は前月並みに順調な見通し
  - 原木在庫は前年並み、製品荷動きは前年を下回る見通し
- 【カラマツ】**
- 素材生産は引き続き順調な見通し
  - 原木在庫、製品荷動きとも前年を下回る見通し



北見地区 (オホーツク)

- 【トドマツ】**
- 素材生産は順調な見通し
  - 原木在庫、製品荷動きとも前年を下回る見通し
- 【カラマツ】**
- 素材生産は順調な見通しもやや下降傾向
  - 原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年並みの見通し



帯広地区 (十勝・釧路・根室)

- 【トドマツ】**
- 素材生産は順調な見通しも下降傾向
  - 原木在庫は前年並み、製品荷動きは前年を下回る見通し
- 【カラマツ】**
- 素材生産は順調な見通しもやや下降傾向
  - 原木在庫、製品荷動きとも前年を下回る見通し

